

『風と光と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、  
地域教育の「横の連携」と「縦の接続」  
を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

地域教育支援では、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域に於ける体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

以上のことを目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

## 大切にしてもらった記憶

富士・東部教育事務所 所長 河端 雄一

桜若葉がみずみずしい季節となりました。

地域教育情報誌「風と光と」の第1号をお届けするにあたり、教育事務所の取組に対して、これまでの皆様方のご理解とご協力に対し、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大により、先を見通すことが難しく悩ましい毎日が続いております。このような状況ですが、昨年度も関係者の皆様のご尽力により、大変有意義な取組が生み出されました。いくつかの会に参加したり、その様子を聞いたりする中で、それぞれの取組から「子どもたちの教育は地域全体で担う」という力強さを感じました。

本事務所における地域教育の取組は「地域教育フォーラム」「明日の風」の活動を中心に、20年間脈々と続いております。本管内において地域教育推進連絡協議会が発足した当時、小学生だった子どもたちも20代後半～30代前半の年齢になりました。実際に会を運営している方からも「自分が子どもの時にこの会に参加しました」「自分が感じた喜びを子どもたちにも味わってほしくて」との言葉をお聞きしました。また、子どもたちに実にいきいきと関わってくださっている若者の姿も目の当たりにしました。

「その言葉、その姿を支える源は何か」を考えていたときに、先輩から教えていただいた次のようなエピソード(新聞記事)を思い出しました。

「大切にしてもらった記憶」(新聞記事より 要約)

ふと、誰かに大切にしてもらった記憶がよみがえってくる。絵を描いていたわたしに「上手やなあ」と言ってくれたおばちゃん、自転車で転んで泣いていたときに助けてくれたお向かいのお姉さんの優しい声。家族だけでなく、外の世界の人々が幼いわたしをひょいっと気にかけてくれた。そんなたくさんの「大切にしてもらった成分」が大人になったわたしにはつまっている。何十年も前のことなのに思い出すと気持ちが強くなる。だから、きっと、わたしは大丈夫なんだ!

長い年月をかけて、地域の皆様が心地よいさわやかな風を吹かせ、希望や未来へ向かう道標としての光を灯す。それを受け取った子どもたちが「大切にしてもらった成分」をいただき、「だから、きっと、わたしは大丈夫なんだ!」と感じて成長を続ける。そして大人になってまた風を吹かせ、光を灯す。このサイクルがより確かなものになる時がもうそこまで来ていると感じています。

今年度も新型コロナウイルス感染症による影響が続いています。しかしながら、この地域や人々には熱意があります。知恵があります。そして「大切にしてもらった記憶」「大切にしてもらった成分」が詰まった若者がいます。そういった地域の皆様や各団体の方々と連携し、子どもたちの健やかな成長を願って私たち教育事務所スタッフ一同も、精一杯努力して参ります。一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 《南・北都留地域教育推進連絡協議会の主な地域教育関連事業》

## 〔南都留関係〕

### ◎主催事業

- 【地域教育推進連絡協議会理事会・総会・教育講演会】 6月15日(水) 勝山ふれあいセンター  
教育講演会：「これからの地域教育と学社連携～地域活性のために今できること～」  
山梨大学 大学院 教授 栗田 真司 氏
- 【南北都留教育相談ネットワーク会議】 ①7月7日(木) ②12月7日(水) ③2月9日(木)
- 【第25回南都留地域教育フォーラム】  
10月28日(金) ふじさんホール (主会場)  
全体会の後、現在子どもたちが抱えている様々な課題にスポットを当て、地域連携の中での解決の方向を探っていきます。
- 【都留地区生徒の健全育成を目指す中・高連携連絡会議】  
①6月23日(木)  
②11～12月中予定(後日調整)



### ◎共催事業

- 【富士吉田地区小中高連携連絡会議】  
① 5月24日(火) 全体会  
② 9月16日(金) ふるさと発見ワークショップ ③ 2月24日(金) 全体会
- 【富士吉田地区小中高連携連絡養護教員部会】  
① 6月6日(月) ② 3月14日(火)
- 【親子カルチャー教室】  
7月23日(土) 富士北稜高等学校
- 【親子ふれあい体験教室】  
8月11日(木) 山の日 都留興譲館高等学校
- 【南都留特別支援教育研究会】  
① 5月19日(木) ② 6月28日(火)  
③ 2月14日(火)



## 〔北都留関係〕

### ◎主催事業

- 【一人一花運動】 花の種(ひまわり・百日草・マリーゴールド等)の配付：4月中旬  
フォトライブラリー展：11月7日(月)～12月9日(金) 北都留教育会館
- 【地域教育推進連絡協議会定期総会・教育講演会】 6月30日(木) 13:30～ 大月市民会館  
教育講演会「子どもの心に愛の基地～脳と心の育て方～」  
山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授 坂本 玲子 氏

活動事例発表：ローカルディスタンス

- 【明日の風 アスリート実技講習会】  
① 5月 7日(土) ② 6月18日(土)  
③ 9月23日(金) ④11月 5日(土)  
⑤ 2月18日(土) ⑥ 3月 4日(土)



## ◎共催事業

- 【伊藤知治教士八段剣道教室】  
10月16日(日)(予定) 大月短期大学 体育館
- 【帝京科学の夏まつり】  
7月24日(日)(予定) 帝京科学大学
- 【チャレンジ!上高アニメーション】  
8月2日(火)(ゲーム形式の読書会)上野原高校
- 【芸術文化振興事業】  
①7月30日(土) ②③10月予定
- 心と体ヘルスアップ教室  
8月20日(土) 大月市総合体育館・上野原市文化ホール



## ◎協力事業

- 【シオジ森の学校】
  - ①オープンキャンパス：4月16日(土)
  - ②講座1：5月21日(土)探鳥会
  - ③講座2：6月4日(土)間伐体験
  - ④講座3：7月23日(土)夏のトレッキング
  - ⑤講座4：7月30日(土)森で楽しもうその他：木工教室、子供向けネイチャーゲーム、シニア向けイベント、イス作り



## 《社会教育関連事業》

- ◎【南都留地区社会教育担当者会】(年間6回)  
南都留地区の社会教育(生涯学習)担当者の情報交換・意思疎通および研修を実施します。
- ◎【南都留地区ジュニアリーダー・アウトドア】  
2回実施：場所及び日程は未定
- ◎【南都留地区社教委連 定期総会及び春季研修会】  
5月20日(金) 研修会：鈴木 猛康 先生(山梨大学)による講演「地域防災」
- ◎【北都留地区社会教育業務説明会】  
市町村社会教育担当者と、教育事務所との連携を図ります。
  - ①4月14日(木)：上野原会場 ②11月15日(火)：丹波山会場
- ◎【放課後子どもプラン推進事業「放課後子ども教室」】
  - 南都留地区：富士吉田市・都留市・富士河口湖町・西桂町・鳴沢村・忍野村・山中湖村・道志村
  - 北都留地区：大月市・上野原市・小菅村・丹波山村
- 【山梨ことぶき勸学院】  
新1年生(36期生)南都留教室 13名、北都留教室 21名  
新2年生(35期生)南都留教室 14名、北都留教室 24名
- 【フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」】  
8月1日(月)～8月8日(月)



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL：<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/jouhoushibackn.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めてまいります。各事業について御意見御要望がありましたら、教育支援スタッフまで御連絡ください。また、地域連携の活動の情報がありましたらお知らせください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 教育支援スタッフ 0554-45-7841



北都留教室 卒業式

## ことぶき勸学院 卒業式・修了式

コロナ感染症の拡大のため、3月15日(火)にYCC 県民文化ホールで行われるはずの卒業式・修了式は、教室ごとの実施となりました。北都留教室は、教室会場の上野原市文化ホールにある多目的ホールで上野原市教育長を来賓にお迎えしました。南都留教室は、南都留合同庁舎4階の大会議室において、富士・東部教育事務所所長を来賓としてお迎えして、ことぶき勸学院第34期生19人(南都留10、北都留9名)の卒業式が行いました。



南都留教室 卒業式



南都留教室 修了式



北都留教室 修了式

また、1年生39名(南都留14名、北都留25名)も1学年の課程を修了しました。

## ことぶき勸学院 入学式・開講式

コロナ感染症拡大防止のため、4月15日(金)にYCC 県民文化ホールで行われる予定であった入学式も教室ごとの実施となりました。そのため、4月22日(金)に、北都留教室は上野原もみじホールにて、南都留教室は南都留合同庁舎4階の大会議室にて、入学式・開講式を実施しました。

南都留教室(担当:桑原利克)は、1・2年生ともに南都留合同庁舎、北都留教室(担当:福嶋尚美)は、2年生が大月市総合福祉センター、1年生が上野原文化ホールを中心に活動を行っていきます。



南都留教室 入学式・開講式



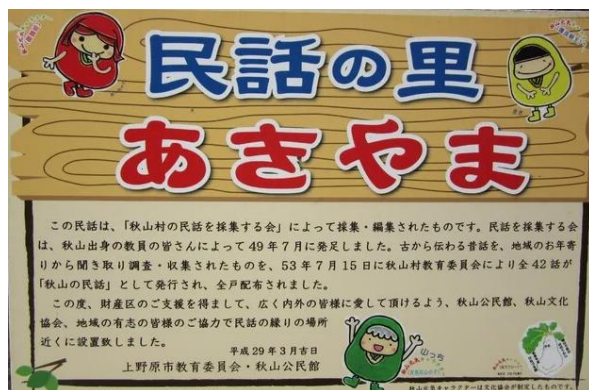
北都留教室 入学式・開講式



## 上野原市秋山地区 秋山の民話

3月8日、上野原市秋山地区の住人らが作成した「秋山の民話DVD」が完成し、上野原市立秋山小学校(秋山美代校長)で寄贈式がありました。3年余りの時間をかけて住民や高校生たちが「語り部」となって、41話の民話(全8巻)が収められています。民話のもとになった現場と周辺の風景も収めたDVDは、地元の小中学校、市図書館、秋山温泉などに贈呈され、地域教育の教材や観光振興に活用されます。また、YouTube「あきやまチャンネル」でも視聴できます。

秋山中学校(山崎明彦校長)では、「秋山の民話 英訳化」を平成28年度から総合学習プロジェクトとして開始しています。また令和3年度「あきやまタイム」で伝統文化チームが「雛籠姫伝承」を映像化(YouTube)しました。



# 安定し、活性化できる学級集団づくり 道志中学校

創立75年を迎える村立道志中学校（杉本賢二校長）では、早稲田大学 河村茂雄教授が開発した学級経営アセスメントツールWeb版「WEBQU」を学校全体で活用して、学級の安定と活性化を向上させています。

学期ごとの成果・課題を明確にするため、年に数回の検査を実施し（一人1台端末）、即座にデータの集積と検証を行っています。杉本校長先生にお話を伺うと、そのデータの分析から「どのクラス、どの子どもに対して、どういう指導がなぜ必要なのか」という「指導の根拠を求め」ることの大切さを話されていました。言い換えると、教師が「やりたい指導」を行うのではなく、「個人と集団の実態に応じた指導を組織で実践することが大切である」とのことでした。

「WEBQU」の結果を踏まえ、具体的には「配慮と関わりの班活動」と「教科の言語活動の充実」の2つに力を入れて取り組んでいます。「班活動」には3つの機能を持たせ、学級の安定と非認知能力（自己肯定感・協働性・社交性など）を向上させます。「教科の言語活動の充実」では、全教職員における毎日の教科の言語活動を通して一人ひとりの主体性や活性化を向上させながら、個別最適な学びの工夫、学習成果を異学年交流で発表する協働的な学びの工夫など、「単元を貫く課題解決学習」を展開しています。

また、道志中学校では、7月13日（水）に山梨県教育委員会指定の「先進的教育活動モデル授業」の研究発表会を計画しています。当日は午前中に国語と英語の授業、午後には河村教授を招いての研究会・講演会が行われます。新型コロナウイルス感染症の影響で実施や内容の変更もあり得ますが、河村教授のお話を直接聴ける又と無い機会です。興味をお持ちの先生方は、道志中学校（0554-52-2036）千葉教頭先生までお願いします。

※「Q-U」とは、Questionnaire—Utilities（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の略。

学級集団の状態や学級を構成する児童一人ひとりの意欲・満足度などを測定して、学級づくりに役立てていくというもの。子ども一人ひとりを理解するとともに、どのような学級集団にあるかを分析できる。

道志中学校 令和3年度QUの結果

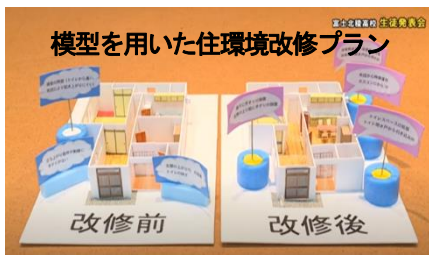
満足群	全国平均	5月	10月	12月	2月
	41%	66	81	88	93%

○侵害行為認知群・不満足群・要支援群等は0%

○3学年の学級状況に差が無い

= 親和型—安定H—創造H（安定と活性の状況）

## 富士北稜高校 第15回生徒発表会 YOUTUBE 限定配信



2月18日（金）、富士北稜高等学校（塩入由里校長）において「第15回生徒発表会」が開催されました。新型コロナウイルスの感染予防対策としてYouTube配信で1年次生から3年次生が一年間の学習成果の発表を行いました。

塩入校長は、生徒たちに「総合学科高校の本校と普通科高校の違いはなにか?」「学校生活の中で身につけた一つ一つの技術や知識はこの社会になくてはならないものである」と問いかけていました。

生徒が自ら課題を決め、他者との対話や解決への過程を大切にしながら探究活動を行い、その成果を発表する中でもっとよい自分をつくり、大きく成長している姿が印象的でした。また、地域の方々の協力のもと、「この街がもっといい街にならないか、もっと人々が幸せに暮らせないか」と様々なアイデアを真剣に考えている様子は、生徒たちの地域の一員であるという自覚や郷土愛が育くまれていることが伝わってくる発表会でした。



- 1年 地域探究Ⅰ「ふるさと納税について」  
ライフデザイン1.0「将来のために」
- 2年 地域探究Ⅱ「地域を知り、地域の課題を解決するアイデア提案」  
有志実践：「折り紙水族館」「ハタオリ号」

### 3年 課題研究発表

- 福祉健康系列「高齢者が住みやすい住宅環境」
- 教養系列「富士吉田巡り」
- 総合ビジネスイノベーション系列「かえる舎との取り組み」  
ふるさと納税返礼品のPR活動(冊子作り)
- 建築デザイン系列「ZEPP TOKYO を作る」
- 機械クワーター系列「チャレンジ2021」  
ものづくりへの挑戦(技能検定：旋盤2・3級  
校内修繕、3Dプリンタでの製作、スプーン製作、ロボコンへの挑戦)
- 電気情報系列「最先端技術を学ぶ」  
AIとドローン(人を見つけると発光する)

## 都留高校 令和3年度つる探プロジェクト発表会

3月18日（金）に県立都留高校（廣瀬浩次校長）の1・2年次生が合同で、「総合的な探究の時間」＝「都留高探究プロジェクト」のリモート発表会を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、実地調査・提案活動の実施も限られた環境のなかで1年間の探究活動を行ってきましたが、生徒たちの探究活動は「課題の設定・仮説・検証・まとめ・今後の課題」という手順で行われており、グループ内での協働作業を通じて主体的・対話的で深い学びが実現出来たと思います。また、非常に多くの質疑応答が行われ、なかには発表者が即答出来ないような質問もありました。聴衆生徒からの質問により、今後さらに自分たちの探究が深まることが期待されます。

最後に廣瀬校長は講評のなかで、「普段から問題意識を持ち仮説を立てること」「ただ調べてみるだけではなく、なぜそのような結果になったのかの考察をすること」「各自が真の意味で理解し、伝わるように伝える発表を行うこと」の3つの大切さについてお話をされていました。令和4年度の探究活動・発表会が更に有意義なものになることが期待されます。

### 代表生徒テーマ一覧

- ・女性の社会進出と少子化の関係性について
- ・男らしさ？女らしさ？～ジェンダーレスについて考える～
- ・後天的にショートスリーパーに近づくには
- ・読み聞かせで本好きを増やす
- ・肉に代わる食
- ・「かわいい」は都留高を救う vol. 2
- ・やっぱり話してみないとわからないなあ
- ・世界の貧困と私たち
- ・ハツユキカズラの葉はなぜ赤くなるのか



## シオジ森の学校 オープンキャンパス

4月16日（土）に「シオジ森の学校 オープンキャンパス」が大月市総合福祉センターにおいて開催され、多くの親子が参加しました。前半は、間伐材を利用した「積み木遊び」が約1時間ほど行われました。子どもたちは木のぬくもりを感じながら非常に立派な橋や塔を作り上げ、終了の時間になると「もっとやりたい！」の声も聞かれました。後半は、「日本百名山撮影秘話」という演題で、地元大月市笹子町出身のカメラマン小野塚正直氏による講演が行われました。子どもたちは撮影で使うドローンなどの撮影機材に非常に興味を持ち、様々な質問を投げかけていました。



※今後の活動は本紙3ページの講座日程を参考に！詳しくは誠実堂（0554-22-2775）まで！